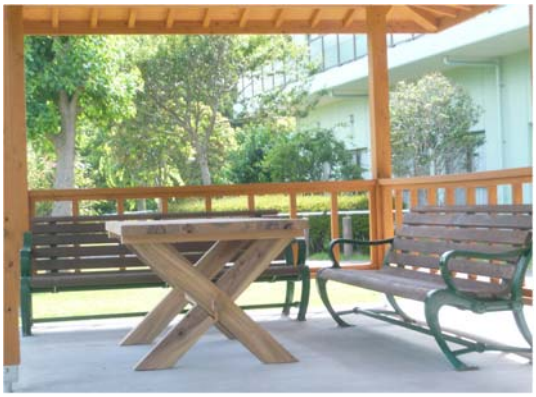
完成した「20周年記念屋外リハビリ休憩室」
手前には手作り花壇を設置しました。



横から見た新休憩室（中央に見える
テーブルがしおさい玄関前に立っていた
クスノキの幹で作られたもの）

食堂から庭園に出たすぐのところに、屋外リハビリ休憩所（東屋風）が４月に完成し、中にベンチ2台を置き手すりを付け、5月には花壇を設置、そして玄関アプローチ庇拡張のために伐採されたクスノキの幹で作ったテーブルが完成し、6/9（土）に行われた20周年記念式典の日にお披露目できました。

この東屋風の屋外リハビリ休憩所は食堂から出たすぐのところに創られたため、今も庭園の一番奥にある東屋休憩所まで行かなくてもすぐ、外の空気を吸いに、潮騒を聞きに、太陽の光を浴びに、庭園の草花や樹木を眺めに来ることが出来ます。また、車いす利用の方も利用しやすく、手すりが付いているため安全に利用できます。

またテーブルは、昨年7月に玄関アプローチ庇拡張のために伐採されたクスノキを、何らかの形で残したいという思いで伐採後に自然乾燥させていた幹を使い、リハビリ休憩所建築に携わった大工さんに依頼して作って頂いたものです。

屋根があるので夏の強い日差しも遮られ、昼寝も出来ると利用者には好評です。更に夏まつりでは焼きそばコーナーを設置し、利用したいと計画しています。